



マニュアル

※ 注 意 ※

本マニュアルは MILLION TRADER の利用方法や、
パラメータ設定などの詳細を記載した内容となっております。

また、本マニュアルはパソコンでの操作画面を基に解説を行っております。
スマートフォン、タブレットで使用する際の画面とは表示が異なりますのでご注意ください。

--- 目次 ---

「MILLION TRADER」と「Trading View」の機能解説

■ Trading View の機能紹介-----	p.3
① 全体のカラー変更	
② 表示足単位・単位変更	
③ インジケーター & ストラテジーの挿入	
④ 表示チャート数とレイアウト・変更	
⑤ チャート設定-----	p.4
⑥ 「MILLION TRADER」の設定	
⑦ アラート編集・アラート履歴	
⑧ ストラテジーテスター-----	p.5
■ 「MILLION TRADER」機能 パラメータ解説-----	p.6
各 MILLION TRADER によるパラメータの違い	
パラメータ解説によく使われる用語集	
【1】表示-----	p.7
日足移動平均線 表示	
移動平均線 表示	
【2】基本エントリー条件 -----	p.7
手数料	
エントリー開始日、時間	
リアル／バックテスト	
エントリー選択 -----	p.8
逆指値エントリー条件	
【3】基本エントリーロジック -----	p.9
エントリーロジック選択	
指定時間	
MACD エントリー判定足	
新値足スタート時間-----	p.10
■ 基本エントリーロジックの解説 ■ -----	p.11
【4】デイトレエントリー条件-----	p.12
最大エントリー回数	
日足 MA 基準エントリー	
VWAP 基準エントリー	
表示足 RSI 基準 反発／反落-----	p.13
許容 GapUp/Down 率 -----	p.14
エントリー株価指定	
日々エントリータイム	
寄付き様子見／見送り時間	
当日利益確保エントリー制限-----	p.15
分足 MA 昇降判定	
【5】決済条件 -----	p.16
日足基準線反転決済	
日足 MA 反転利確	
VWAP 反転決済 -----	p.17
MACD 反転決済	
強制決済発動日数	
利確チェック開始時間	
株価指定 利確／損切 -----	p.18

【6】トレーリングストップ -----	p.19
ロスカット下落率%	
第1通常 TSトリガー利益率%、第1決済 利益率%	
第2通常 TSトリガー利益率%、第2決済 利益率%	
■ トレーリングストップ 利確損切ラインの解説 ■ -----	p.20
【7】新値足用パラメータ -----	p.21
1 分足 MA 基準 新値足エントリー	
新値足エントリー想定ロス回避	
新値足反転ロスカット -----	p.22
TOPIX100 対応呼値	
呼値逆指値	
分足 25or75MA 新値足逆指利確	
注意事項 -----	p.23

「MILLION TRADER」と「Trading View」の機能解説

■Trading View の機能紹介

「MILLION TRADER」を利用する際に使用する Trading View の機能を紹介します。



①全体のカラー変更

ここをクリックするとご自身のアカウントの設定変更や、Trading View 全体のカラーの変更もできます。
Trading View 初期カラーは全体がホワイトカラーですが、「ダークカラーテーマ」をクリックすると、上図のように黒を基調とした画面になります。
ホワイトカラーの画面だと各項目や利確ラインが見えにくい場合は、ダークカラーテーマへ変更してみましょう。

②表示足単位・単位変更

現在表示中のローソク足の期間が表示されています。
ここをクリックすると、現在 Trading View でご参加のコースで使用可能な足の期間が選択できます。
1 秒～1 日足で運用が可能です。利確損切ラインが見やすい 1～15 分足での運用をご推奨しています。

③インジケータ＆ストラテジーの挿入

お気に入りに登録した「MILLION TRADER」を株価チャートに挿入する際に使用します。
その他ご自身で使用したいインジケータなども挿入できますが、他のストラテジーを同時に使用する事は正常な取引の妨げとなる可能性があるためお控えください。

④表示チャート数とレイアウト・変更

現在表示中の株価チャート数とレイアウトを表示します。
ここをクリックすると現在 Trading View でご参加のコースで使用可能なレイアウト(※)が選択できます。
自動売買で運用する際は、一度アラートを設定すると株価チャートを表示しないでも取引が行われるため、取組銘柄分のチャートを表示させなければならないわけではありませんので、ご自身が使いやすいレイアウトをお選びください。
(※ Pro:2 画面、Pro+:4 画面、Premium:8 画面)

⑤チャート設定

Trading View は海外発のチャート分析ツールの為、ローソク足の色が「上昇＝青、下降＝赤」となっており、日本の一般的な表記とは逆になっております。

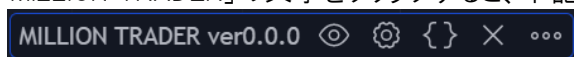
ローソク足の色を気にされるようであれば、ここからシンボルを右図のように色を変更してください。

色は変更したい場所をクリックすると、ご自身の好きな色に変更が可能です。変更後は「OK」とクリックしてください。



⑥「MILLION TRADER」の設定

こちらから「MILLION TRADER」の各種設定や、アラート設定を行うことができます。「MILLION TRADER」の文字をクリックすると、下記のアイコンが表示されます。



各アイコンの機能は以下の通りです。



= チャートに表記されている「MILLION TRADER」の各種サインの表示/非表示を切り替えられます。



= 「MILLION TRADER」の各種パラメータを設定、変更できます。



= 「MILLION TRADER」をチャートから削除します。こちらを削除しても設定したアラートは消えません。



= 主にアラートを設定する際に利用します。

また、初期状態では MILLION TRADER のパラメータ数値が表記されています。チャート上の「MILLION TRADER」の上で右クリックを押し、「インジケーターの引数を表示」「インジケーターの値を表示」のチェックを外すと、右図のように数値の表記が消えます。



※ パラメータの設定方法 ※



のアイコンをクリックすると、右図のようなポップアップが表示されます。

スタイル…ローソク足や背景色など、チャートの色を変える際に利用します。


MILLION TRADER の各種パラメータを設定・変更したい場合は、赤枠で囲われている『パラメータ』をクリックすると、設定画面がスタイル→パラメータに切り替わります。



⑦アラート編集・アラート履歴

アラートを設定したらこの場所に設定したアラートが表示されますが、各アラートの上で右クリックを行うと、アラートを削除したり、一時停止することが出来ます。

また、配信したアラートの履歴を「アラートログ」で確認することが出来ます。

アラートの項目は  のマークをクリックすることで表示/非表示が可能です。

⑧ストラテジーテスター

Trading View では、実際の取引を行わなくても、「もし投資をしていたらどのくらい利益が出ていたか？」という仮想による運用での結果を見ることが出来る【テスト運用(バックテスト)】が可能です。

このテストを行う場合は 1 秒～1 分足でのチャート表示をご推奨します。

(※ 各銘柄の板状況などの影響により、実際の取引と若干ずれる場合があります。)



上図の取引で出た利益(銘柄購入金額に対する利益率)はトレード一覧の **こちら** に表示されます
上図では買い付け金額に対し、+0.97%の利益が出たことを示しています。

現物での取引の場合は、この利益から約定代金に応じた現物手数料の差し引き分をご自身でご計算ください。

ストラテジーテスターは実際の取引をしながらでも確認が出来ます。

株価チャート上で左クリックを押しながら右へカーソルを動かすと過去のチャートを閲覧することも可能なため、MILLION TRADER のエントリー開始日を過去に設定することで、株価チャートで表示可能な範囲内であれば過去のデータに遡って結果を表示することも可能です。

パラメータを変更することで、変更内容にともなった結果が表示されるため、過去の自分の取引を振り返り、「もし、違うパラメータで取引をしていたら、どのくらい損益が違っていたか？」というような検証をすることも可能となっております。

検証を繰り返し、ご自身の銘柄選定と投資スタイルに合ったパラメータを見つけ出す際にお役立てください。

「MILLION TRADER」パラメータ解説 概要

■ 各 MILLION TRADER によるパラメータの違い

MILLION TRADER のパラメータは大きく分けて 8 種類のセクションに分かれておりますが、お使いの MILLION TRADER やバージョンによって搭載されているセクションや、セクション内のパラメータが変わります。

ご利用されるパラメータの ON、OFF を切り替えたり、実質的に効果無効の数値を入力されるなどすることで、ご自身の投資スタイルに合わせた機能を組み合わせてご利用ください。

【搭載パラメータセクション一覧】

- | | | |
|---------------|---------------|-------------|
| ■ 表示 | ■ デイトレエントリー条件 | ■ 新値足用パラメータ |
| ■ 基本エントリー条件 | ■ 決済条件 | |
| ■ 基本エントリーロジック | ■ トレーリングストップ | |

■ パラメータ解説によく使われる用語集

エントリー : 株を購入することを指します。空売りの際も同様です。

ポジション : 保有株のことを指します。買いの場合は買いポジション、空売りの場合は売りポジションと表します。

利確 : 利益を確定の決済注文を指します。

ロスカット(損切) : 損失を確定の決済注文を指します。

MA : 移動平均線を指します。5MA＝5日移動平均線、25MA＝25日移動平均線となります。

VWAP : 出来高加重平均価格を指します。一般的にはその日の高値掴みを防ぐため、大口投資機関などは VWAP 付近で取引を行う事が多いとされている基準線です。

4 本値 : ローソク足の「高値、安値、始値、終値」の総称です。それぞれは以下を指します
「高値: その日の最高値」「安値: その日の最安値」「始値: その日の寄付きの株価」
「終値: その日の 15 時の株価(当日の場中では現在値を指します)」

場中 : 相場が開いている日中の時間帯内(9～11 時 30 分、12 時 30 分～15 時)を指します。

ローソク足本体 : 株価チャートのローソク足の、ローソク本体の部分(上下の線ではなく、実態の部分)を指します。

髭 : 株価チャートのローソク足の上下についている線の部分を指します。

呼値(呼び値) : 株価が上下する際の銘柄ごとの最小値幅(刻み値)の事です。
株価の最小値幅はその銘柄の現在値によって銘柄ごとに値幅が変わります。
また、TOPIX100 採用銘柄は通常の銘柄に比べ呼値が 0.1 円など、小さく刻みます。

【1】表示

株価チャートに表示する各種移動平均線や、エントリー条件の表示などのオンオフを切り替えるためのセクションです。

【日足移動平均線 表示】

5、25、75 日移動平均線(MA)の表示・非表示を切り替えます。(5MA=水色、25MA=橙色、75MA=黄緑色)

【移動平均線 表示】

日足以外の 5、25、75MA の表示・非表示を切り替えます。(5MA=赤色、25MA=青色、75MA=緑色)

■OFF = 非表示

■1分足 = 1 分足以下のどのローソク足を表示していても 1 分足移動平均線を表示します。

■表示足 = 表示している足の MA を表示します。

【2】基本エントリー条件

【手数料】

トレーリングストップの利確損切のパーセンテージに、入力した手数料分を上乗せして計算します。

また、手数料は各証券会社やサービス内容によって異なりますので、詳しくはご利用されている各証券会社の手数料をご参照ください。

【エントリー開始日】【時間】

「エントリー開始日」「時間」に入力した日時以降にエントリーを行います。取引を開始したい日時をご入力ください。

《入力例》2012 年 3 月 2 日 9 時 2 分と入力する場合 ⇒ 日:20120302 時間:902

エントリー開始日に 0 を入力すると表示されている株価チャートの最初の足からが対象となります。

【リアル／バックテスト】

実際にトレードを行う際の「リアルトレード」と、現在設定しているパラメータで過去の勝率や利益率を見る際の「バックテスト」とで、こちらのパラメータを切り替えます。

■リアルトレード :

実際の投資を行う際は必ずこちらをお選びください。

※リアルトレードモードでは、決済アラートの配信ミスが無いように決済時に最大 10 回の決済アラートがチャートに表示・配信されるため、このモードのままバックテストを行うと数値に不具合が起こります。

■バックテスト : Trading View に表示している株価チャートが 1 秒足～9 分足までの場合。

■バックテスト 10 分足～ : 同上 10～45 分足の場合

■バックテスト 1 時間足～ : 同上 1～4 時間足の場合

■バックテスト 1 日足確認 : 1 日足の場合

※バックテスト(ストラテジーテスター)の利益率を見る際の注意※

Trading View においてバックテストでのエントリー条件を満たしたかどうかは表示足の終値ベースで判定され、注文タイミングは「条件を満たした足の次の足で注文を行う」という仕様になっております。

その為、バックテストでは 1 分足表示の場合は 1 分後、1 時間足の場合は 1 時間後にエントリーがずれ込むため表示足が大きければ大きいほど実際のトレード結果と差異が生じる可能性が高まりますのでご注意ください。

チャートを表示させながら、リアルタイムに株価が動いている際にエントリー・決済条件を満たした場合は、バックテストにおいても実際のトレードと同じタイミングで結果が表示されます。

【エントリー選択】

買いエントリーのみでなく、空売りエントリーも選択できます。

- OFF : エントリーを行いません。
- 買い : 買いエントリーのみを行います。現物口座をご利用の方は必ずこちらをお選びください。
- 空売り : 売りエントリーのみを行います。現物口座をお使いの場合や、対象銘柄が非貸借銘柄や空売り・信用規制対象銘柄など、空売りが出来ない銘柄の場合はエントリーが行われません。
- 買・空売 : 買い・売りエントリーを行います。現物口座をお使いの場合や、対象銘柄が非貸借銘柄や信用規制対象銘柄の場合はエントリーが行われません。

※他のパラメータセクションで空売り条件を入れていても、このパラメータで「空売り」「買・空売」を選択していない場合は、空売りは行われません。

※ストラテジーテスターでは上記の規制関係なく全ての銘柄で空売りの結果も含まれてしまうのでご注意ください。

【逆指値エントリー】

トリガーに指定した価格を株価が超えた後、指定した価格まで株価が下がった時にエントリーを行います。(※空売りの場合はエントリー条件が反転します。)

エントリー価格を超えるとトリガー価格には白いライン、エントリー価格には桃色のラインが引かれます。

- OFF : 逆指値エントリーを利用しません。
- 買い : 買いエントリーの条件のみ利用します。
- 空売り : 売りエントリーの条件のみ利用します。
- 買・空売 : 買い・売りエントリーの両方の条件を利用します。

【買いトリガー株価】【買いエントリー株価】

買いエントリーの際のトリガー株価、エントリー株価を入力します。

【空売りトリガー株価】【空売りエントリー株価】

買いエントリーの際のトリガー株価、エントリー株価を入力します。

【3】基本エントリーロジック

エントリーの条件の中で基本となる条件を選択します。

選択肢は「①指定時間、②MACD、③新値足(=)、④新値足(>=)」の4種類となっています

【エントリーロジック選択】

エントリーをする基本条件(テクニカル分析条件など)を選択します。

- ①指定時間 : 一つ下のパラメータ「指定時間」に入力した時間から 14 時 59 分 59 秒までの間にエントリーを行います。他のパラメータ条件を満たしていたらすぐエントリーしたい場合はこちらを選択してください。
- ②MACD : 表示中の足種において、テクニカル分析手法である「MACD」の「MACD ライン」が「シグナルライン」を上抜いたら買い、下抜いたら空売りを条件にエントリーを行います。
株価チャート上では、「MACD ライン > シグナルライン」の場合はオレンジ、「MACD ライン > シグナルライン」の場合は緑色で表示されます。(※MACDの詳細については p.11 をご参照ください)



【MACD エントリー判定足】

買い、空売りのエントリーを判定する足(タイミング)を選択します。

- 現在足 : リアルタイムの最新足の現在値を判定基準とします。
※現在値を基準とする為、ローソク足の4本値が決まり切る最中に条件を満たした瞬間にエントリーするため、ストラテジーテスターの結果と実際のトレードとのタイミングがずれることがあります。
- 1本前 : チャートに表示中の足で、1本前のローソク足を判定基準とします。
※バックテストの場合はエントリー条件を満たした次の足にエントリーが行われるため、どちらを選択しても強制的に「一本前」となります。

【EMA or SMA 選択】

MACD に使用する移動平均線を「指数平滑移動平均線(EMA)」か「単純移動平均線(SMA)」で選択します。

指数平滑移動平均線(EMA)とは、トレンドを早く知るためのテクニカル指標で、単純移動平均線(SMA)と比べて、より早く値動きに反応する指標とされています。

【短期 MA】【長期 MA】【シグナル MA】

MACD に使用する移動平均線の数値を入力します

デフォルト数値は一般的とされる「短期=12、長期=26、シグナル=9」となっていますが、変更可能です。

- ③新値足(=) : 指定の新値足が指定の本数続伸(陽線)、続落(陰線)した**次の足**でエントリーを行います。
新値足はチャート上にオレンジのボックスを「**続伸(陽線)**」、緑色のボックスを「**続落(陰線)**」として表示します。なお、新値足判定は毎日寄り付きから計算し始めます。
※新値足を使ったエントリーは日足以上の期間の足では使用できません。

≪例≫デフォルト値(基準新値足「3」、連続新値足エントリー「3」)設定の場合
⇒新値【3】本足(※)が【3】つ続伸、続落した場合にエントリー。



- ④新値足(<=) : 指定の新値足が指定の本数以上続伸、続落し**続けたら**エントリーを行います。
「新値足(=)」では、条件を満たした瞬間に他の条件を満たしていないとエントリーを行いませんが、
「新値足(<=)」では、条件本数以上続伸、続落している間に他の条件を満たすとエントリーすることが出来ます。

≪例≫デフォルト値(基準新値足「3」、連続新値足エントリー「3」)設定時
株価が VWAP(中央灰色のライン)を上抜く事をもう一つのエントリー条件としている場合。



【新値足スタート時間】

新値足計算し始める時間を入力します。新値足は「基準新値足」に入力した足数から表記されるため、エントリーは最低でも入力時間から「基準新値足」に入力した足数分あとから行います。

【基準新値足】

新値【 】本足に設定するかを入力します(※デフォルトは3)

【連続新値足数】

エントリー条件の新値足連続更新本数を入力します(※デフォルトは3)

新値足のエントリー条件を何回目で満たしたらエントリーするかを設定できます。
寄り付き直後の騙し上げ/下げの際のエントリーを回避したい時などに活用できます。

- =1 : 買い、空売りのどちらのエントリー問わず、最初に新値足条件を満たした時だけエントリーします。
- =2 : 買い、空売りのどちらのエントリー問わず、2 回目に新値足条件を満たした時だけエントリーします。
- <=2 : 買い、空売りのどちらのエントリー問わず、2 回目以上で新値足条件を満たした時にエントリーします。
- =1(売/買) : 買いも空売りも最初に新値足条件を満たした時にエントリーします。
- =2(売/買) : 買いも空売りも 2 回目に新値足条件を満たした時にエントリーします。
- <=2(売/買): 買いも空売りも 2 回目以上で新値足条件を満たした時にエントリーします。

※基本エントリーロジックの解説※

※ MACD とは ※

MACD(Moving Average Convergence Divergence)とは移動平均線を応用したテクニカルチャートとして開発された、近年ではメジャーなテクニカル分析の一つです

通常の移動平均線のゴールデンクロス、デッドクロスに比べ、MACD シグナルの移動平均線とのクロスを加えたことで、より精度を高められていると言われております。

主にトレンド形成時に威力を発揮するため、逆にボックス相場に弱いのが特徴と言われています。

本来は別チャートにて MACD の推移を表示しますが、本システムでは株価チャート上にゴールデンクロス後はオレンジ色、デッドクロス後は緑色と分かりやすく表示してあります。

※ 新値 3 本足とは ※

株価の上昇・下降のトレンドを把握するためのテクニカル分析の一種で、過去ローソク足 3 本分の高値を超えた場合は陽線(オレンジ色)、安値を超えた場合は陰線(緑色)とし、反転や続伸のサインとして利用されています。

「時間指定」では、日中の値動きが下落の最中でも買いエントリーを行います。新値足を利用することで、反発や上昇基調を確認してからエントリーをする効果が期待できます。

また、「連続新値足エントリー」を「1」とすると反発サインが出たらすぐにエントリーを行います。一度だけ反発のサインの陽線を付けても、再び下落し始めるなどの「騙し」の動きも多いのでご注意ください。

もっとも、「値動きが無い場合は新値足が更新されない為エントリーが行われない」「値動きを確認してからエントリーなので初動が遅れる」などのデメリットもあるため、エントリーモードは用途によって使い分けましょう。

尚、後ほど解説のある「エントリー制限」セクションのパラメータと組み合わせることで、更に利益追求のためのエントリータイミングを図る事も可能です。

【4】デイトレ エントリー条件

日中内の株価推移の中でエントリーを行う際に、さらに条件を絞り込むための制限を設けるためのセクションです。主にデイトレードなどで、日中に設定する場合に利用するパラメータとなっています。

【最大エントリー回数】

- 1 回の条件設定に対してのエントリー回数を何回まで行うかを設定できます。
- 1 度設定して回し続ける際は、デフォルトの「上限無し」のままでお取り扱いください。

【同日再エントリー制限】

一度利益確定か損切を行ったその日に、もう一度エントリーをするかどうかを制限することが出来ます。利益確定後、再びエントリーすると高値掴みになる場合や、損切後に再エントリーして、更に損を拡大する事を防ぐ目的などで使用する機能です。

- OFF : 日中、銘柄を保有していない状態でエントリー条件を満たした場合はエントリーを行います。
- ON : 当日、エントリー前に何かしらの決済が行われている場合はエントリーがキャンセルされます。

【1 日エントリー上限】

同日内でエントリーできる上限を設定できます。

【日足 MA 基準エントリー】

選択した日足移動平均線の上を推移していたら「買い」のみ、下を推移していたら「空売り」のみのエントリーを行います。
各移動平均線を割り込んだら買いを控えるなどの使い方で利用する機能です。

- 5MA = 5日移動平均線 ■25MA = 25日移動平均線 ■75MA = 75日移動平均線

【判定足】

買い、空売りのエントリーを判定する足(タイミング)を選択します。
※現在足、1 本前の詳細は「MACD エントリー判定足」の項目(P. 9)をご参照ください。

【VWAP 基準エントリー】

VWAP(灰色の線)に対して現在値が上を推移しているか、下を推移しているかでエントリー条件を決める機能です。

- 順張り : 買いエントリー⇒ 現在値>VWAP、 売りエントリー⇒ VWAP>現在値
- 逆張り : 買いエントリー⇒ VWAP>現在値、 売りエントリー⇒ 現在値>VWAP

【判定足】

買い、空売りのエントリーを判定する足(タイミング)を選択します。
※現在足、1 本前の詳細は「MACD エントリー判定足」の項目(P. 9)をご参照ください。

【乖離 順行率(%)】【乖離 逆行率(%)】

VWAP からの乖離率の条件を入力します。

買いエントリーの場合 : 「乖離 逆行率(%) = 下限」「乖離 順行率(%) = 上限」

売りエントリーの場合 : 「乖離 逆行率(%) = 上限」「乖離 順行率(%) = 下限」

《例 1》逆行率(%)=「0.5」、順行率(%)=「2」と入力した場合

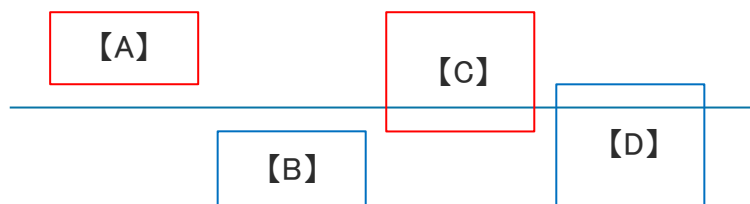
【A】買いエントリーの条件: 現在値が VWAP から上に「0.5%以上」「2%以内」の乖離率

【B】売りエントリーの条件: 現在値が VWAP から下に「0.5%以上」「2%以内」の乖離率

《例 2》逆行率(%)=「-0.5」、順行率(%)=「2」と入力した場合

【C】買いエントリーの条件: 現在値が VWAP から下に「0.5%以内」、上に「8%以内」の乖離率

【D】売りエントリーの条件: 現在値が VWAP から上に「0.5%以内」、上に「8%以内」の乖離率



【表示足 RSI 基準 反発/反落】

RSI 値が指定の下限に指定した数値以下になったらキャンセル条件の数値まで戻らない限りは買いエントリー、上限に指定した数値以上になったらキャンセル条件の数値以下に戻らない限りは売りエントリーを行います。

RSI は「買われすぎ、売られすぎ」を表すテクニカル分析の指標の一つで、50 を中心に 0～100% で表記されます。

【RSI 期間(足数)】

RSI を計測する期間(足数)を入力します。デフォルト値は一般的とされる「14」が入力されております。

【判定足】

買い、空売りのエントリーを判定する足(タイミング)を選択します。

※現在足、1 本前の詳細は「MACD エントリー判定足」の項目(P. 9)をご参照ください。

【上限(%)】【下限(%)】

エントリー条件となる RSI 値を入力します。

RSI 値が上限に入力した%以上となったら「売りエントリー」、下限入力した%以下となったら「売りエントリー」の条件を満たした状態となります。

エントリー条件を満たした状態は、「条件キャンセル」で選択した RSI 値まで戻らない限りは持続します。

【条件キャンセル%】

選択した%まで RSI 値が戻ってきた場合、エントリー条件を満たした状態が解除されます。

【寄付きキャンセル】

選択した%まで RSI 値が戻ってきた場合、エントリー条件を満たした状態が解除されます。

【許容 GapUp/Down 率】

前日の終値から当日の寄付きが設定した%内でない場合はエントリーしない機能です。
前日からあまりにも値が飛んで始まったらその日は取引をしないようにしたり、前日値より高く寄り付かないと取引をしないようにするためなどに使用します。

【GapUp 率(%以下)】

前日終値から当日始値の乖離率が入力値以下ならエントリーを行います。

【GapDown 率(%以上)】

前日終値から当日始値の乖離率が入力値以上ならエントリー

《例》 ・前日終値より低い価格で寄り付いたらエントリーしない場合
許容 GapUp 率(%以下)＝「100」 許容 GapDown 率(%以上)＝「0」

・前日終値より高い価格で寄り付いたらエントリーしない場合
許容 GapUp 率(%以下)＝「0」 許容 GapDown 率(%以上)＝「-100」

【エントリー株価指定】

エントリーする株価の範囲の上限と下限を、株価で入力します。
他のエントリー条件を満たしていたとしても、指定株価範囲外ではエントリーは行いません。
ご自身でエントリーしたい株価が決まっている場合はこちらで設定してください。

設定した株価範囲はチャートの背景がに灰色で表記されます。

【株価上限】

現在値が入力株価以下の場合にエントリーを行います。

【株価下限】

現在値が入力株価以上の場合にエントリーを行います。

【日々エントリータイム】

毎日のエントリー時間を設定する機能です。
他のエントリー条件を満たしていたとしても、指定時間範囲外ではエントリーは行いません。

【日々開始時間(時分)】【日々終了時間(時分)】(入力可能:900～1459)

毎日のエントリーが可能な時間帯を入力します。
開始時間前や終了時間を超過していた場合にはエントリーを行えません。

【寄付き様子見／見送り時間】

寄付きから入力分数が経過するまでエントリーを制限、または寄付きから入力分数が経過した場合はエントリーを見送る機能です。

朝の寄付きの乱高下を回避したい場合や寄付き直後にエントリーをしない場合はその日はエントリーを見送りたい場合などに利用します。

- 様子見 : 寄付きから入力分数が経過するまでエントリーを制限します
- 見送り : 寄付きから入力分数が経過したらエントリーを制限します

【分数】(入力可能:0～59)

寄付き様子見、見送り時間の制限分数を入力します。

寄付き時間は「分刻み」で計算している為、9 時 0 分 59 秒に寄り付いたとしたら、実際の時間が 1 秒経過すると【寄付き様子見／見送り時間】では「1 分経過」したと見なされます。

《例》分数＝「10」、9 時 10 分に寄り付いた場合

様子見 : 9 時 20 分に「なったら」、以降エントリーが可能になります。

見送り : 9 時 20 分に「なったら」、以降エントリーが不可能になります。

【当日利益確保エントリー制限】

当日のみの合計利益が確保ライン以上、または合計損失が逃避ライン以上になった場合、その日はエントリーを行わないようにします。

一日の取引を何度も行う場合、一回の利確やロスカットではなくこの機能を使う事でリスクターンの管理を行えます。

「翌日」を選択すると次の日のエントリーにキャンセルが適応されます。(前日上げ過ぎたので買いはキャンセルなど)
(※注意※ この機能はバックテストでは 1 日後に反映されてしまう為、リアルトレードのときのみご利用ください。)

【確保ライン利益率(%)】

前日終値から上昇・下落のどちらかで入力値を超えた場合に指定したエントリーがキャンセルされます。

【逃避ライン損失率(%)】

前日終値から上昇・下落のどちらかで入力値を超えた場合に指定したエントリーがキャンセルされます。

【分足 MA 昇降判定】

選択した 1 分足の移動平均線が上昇しているか、下降しているかを条件にエントリーを行います。

【5MA 昇降判定】【25MA 昇降判定】【75MA 昇降判定】

各分足移動平均線は以下の場合エントリーを行います。

- 順傾斜 : 指定 MA が上昇(右肩上がり)していたら買いエントリー
: 指定 MA が下降(右肩下がり)していたら売りエントリー
- 逆傾斜 : 指定 MA が上昇(右肩下がり)していたら買いエントリー
: 指定 MA が下降(右肩上がり)していたら売りエントリー

【5】決済条件

トレーリングストップ以外での利益確定・ロスカット(損切)決済の条件を設定します。

トレーリングストップでの決済はどのような銘柄でも一律に含み損益によって決済が行われますが、このセクションの機能を利用することで、一日の平均値幅がどのような銘柄でも、ある程度銘柄に合ったロスカット設定などが行えます。

【日足基準線反転決済】

1日足の MA や 4 本値を基準とした、株価が割り込み、超過した場合決済条件を設定できる機能です。
株価やパーセンテージではなく、移動平均線や前日の日足を基準とした簡易的な決済を行う際に利用します。

■ 5MA ■ 25MA ■ 75MA :

各日足移動平均線を基準線とし、株価が割り込んだ(空売りは超過した)際に決済を行います。

■ 5MA(2 日目), ■ 25MA(2 日目) ■ 75MA(2 日目) :

各日足移動平均線を基準線とし、株価が 2 日続けて割り込んだ(空売りは超過した)際に決済を行います。

■ エントリー値(翌日以降) :

買値を基準線とし、エントリーした翌日以降に買値を割り込んだ(空売りは超過した)際に決済を行います。
買い値判定は Trading View のサイン基準となるので、実際の買値とは多少のずれが生じることがあります。

■ エントリー前日安/高値 ■ エントリー当日安/高値:

エントリー前日、当日の最安値(空売りの場合は最高値)を基準線とし、基準線を株価が割り込んだ(空売りは超過した)際に決済を行います。

■ エントリー前日ローソク下/上値

エントリー前日のローソク足本体部分の最安値(空売りの場合は最高値)を基準線とし、基準線を株価が割り込んだ(空売りは超過した)際に決済を行います。

■ エントリー前当日安/高値

エントリー当日と前日の最安値(空売りの場合は最高値)を基準線とし、基準線を株価が割り込んだ(空売りは超過した)際に決済を行います。

【反転決済 判定時間】

基準線を基準に株価が反転したかどうかを判断する時間を入力します。
入力時間以前の株価推移は反映されず、入力時間以降に基準線を超えていたら決済を行います。

「1450」など、相場の後半の時間に設定することで、日中の乱高下の際に一瞬だけロスカット基準線に触れて決済を行ってしまうなどの事態を回避したい際などに使用します。

【日足 MA 反転利確】

「日足基準線反転決済」と反転条件は変わりませんが、それに加え「エントリー価格(TradingView 上での価格)」をベースに含み益が出ている場合に利確します。(※手数料は換算しません。)

■ 5MA ■ 25MA ■ 75MA :

各日足移動平均線を基準線とし、株価が割り込んだ(空売りは超過した)際にエントリー価格を超えていたら(空売りは割り込んでいたら)決済を行います。

【反転利確 判定時間】

基準線を基準に株価が反転したかどうかを判断する時間を入力します。
入力時間以前の株価推移は反映されず、入力時間以降に基準線を超えていたら決済を行います。

【VWAP 反転決済】

VWAP を株価が割り込んだ(空売りは超過した)場合に決済を行います。

【判定足】

買い、空売りのエントリーを判定する足(タイミング)を選択します。
※現在足、1 本前の詳細は「MACD エントリー判定足」の項目(P. 9)をご参照ください。

【MACD 反転決済】

MACD のサインが反転した場合に決済を行います。

【判定足】

買い、空売りのエントリーを判定する足(タイミング)を選択します。
※現在足、1 本前の詳細は「MACD エントリー判定足」の項目(P. 9)をご参照ください。

【強制決済発動日数】

ポジションを保有し続ける上限日数を入力し、上限日当日に含み損益は関係無く必ず強制決済を行う機能です。
利確・損切条件を満たさない銘柄を保有し続ける機会損失を防ぐなどに利用します。
「1」と入力すると当日決済、「2」と入力すると翌日となります。(入力日数に上限はありません)。

【発動時間】

入力強制決済日当日に入力時間になると強制的に決済されます。

【利確チェック開始時間】

指定した保有期間銘柄を保有した場合、その後は毎日入力時間以降に含み益が「利確判断含み益」に達したら必ず決済を行う機能です。
「1450」など、相場の後半の時間に設定すると、その日に指定の含み益があったら、日を跨がずに決済を行えます。

【利確判断含み益(%)】

「毎日利確判断時間」以降の時間帯に入力した含み益以上になっていたら利益確定決済を行います。

【銘柄保有日数】

「利確チェック開始時間」が機能し始める銘柄保有期間を入力します。
「1」と入力すると当日から、「2」と入力すると翌日からとなります。(入力日数に上限はありません)。

【株価指定 利確/損切】

保有している銘柄が入力株価以上・以下になったら、ポジションを強制決済します。
利確株価は黄色、ロスカット株価は紫色のラインがチャート上に表示されます。

【利確 株価】

利確を行いたい株価を入力します。

【ロスカット 株価】

ロスカットを行いたい株価を入力します。

※このパラメータを利用すると、トレーリングストップの「ロスカット下落%」が機能しなくなります。

【6】トレーリングストップ

トレーリングストップとは、一定の含み益に達したら自動的に利益確定する株価ライン(逆指値)を設定し、その後は株価推移に合わせて利確ラインを引き上げてくれるシステムです。

また、ポジションを保有したら自動的に損切ラインを設定することも可能です。

(※トレーリングストップの詳細な解説は P.20 をご参照ください。)

MILLION TRADER では6つのトレーリングストップを設定することが可能となっているため、損失を抑え、利益を確保し、上値を取り切ることに最大限活用していきましょう。

(※手数料が「0」以外の数値が入力されている場合は手数料分を加味した株価で決済注文を発注します。)

※ 注意 ※

成行注文は 15 時を過ぎると失効されるため、トレーリングストップ発動による決済は 14 時 59 分までとなります。

14 時 59 以降に各トレーリングストップ条件を満たしても決済は行われず、翌日へ持ち越します。

【ロスカット下落率%】

買い付け価格より入力数値(%)以上下がった瞬間に成行決済注文にて銘柄を手放します。

株価チャートには「**紫色のライン**」で表示されます。

(※注意※ 【ロスカット株価】に「0 以外の数値」が入力されていると、この機能は無効化されます。)

【第1通常 TSトリガー利益率%】【第1決済 利益率%】

【第2通常 TSトリガー利益率%】【第2決済 利益率%】

買い付け価格より「通常 TSトリガー利益率%」に入力した数値(%)以上に株価が上昇したら、自動的に「決済 利益率%」に入力した数値(%)の株価にラインを引き、そのラインを割り込んだら瞬間に成行決済注文を行います。

株価チャートには「**黄色のライン**」で表示されます。

株価がある程度の%分上がったら、指定の株価で逆指値注文が勝手に行われ、もし株価が下がっても指定の%分の利益を確保する為に自動で決済を行うイメージとお考え下さい。

【第1%TSトリガー 含み益%】【第1決済 含み益減少率%】

【第2%TSトリガー 含み益%】【第2決済 含み益減少率%】

買い付け価格より「%TSトリガー 含み益%」に入力した数値(%)以上に株価が上昇したら、

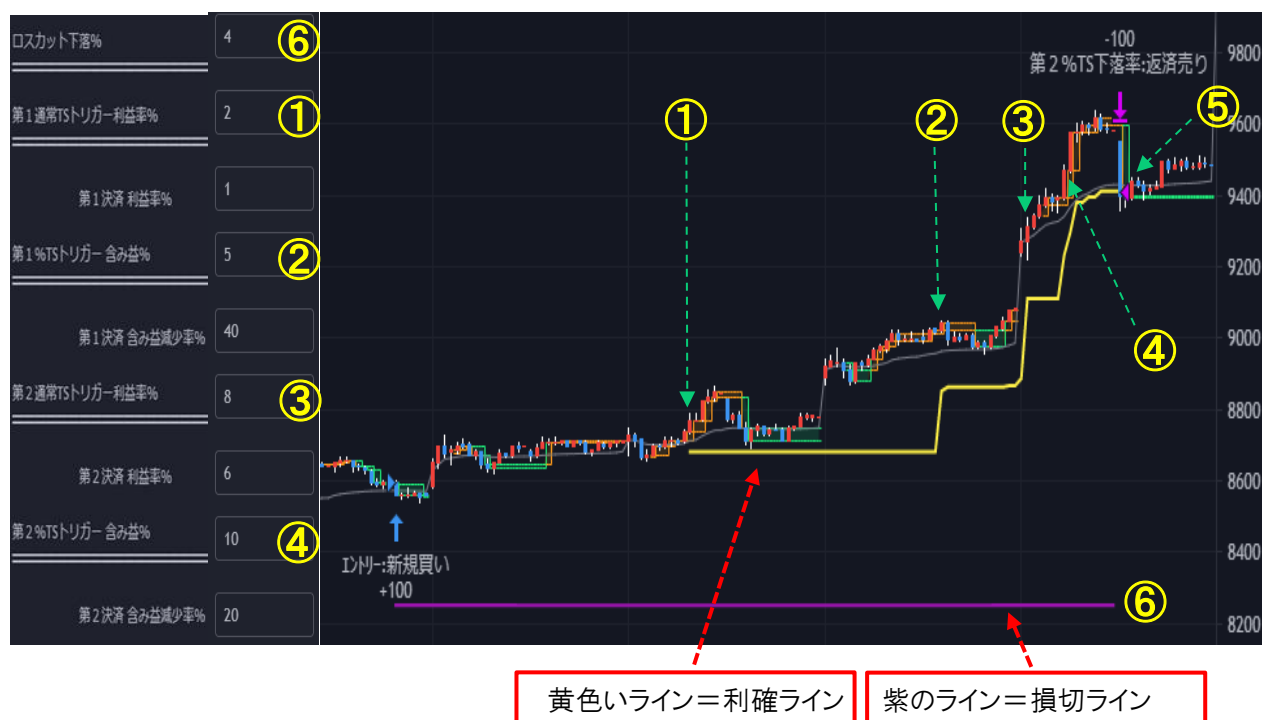
その後の**最大含み益**が「決済 含み益減少率%」分の%株価が下落したら、その瞬間に成行決済注文を行います。

「通常 TSトリガー利益率%」は決済ラインが固定されますが、「%TSトリガー 含み益%」は発動後に株価が上がって最高値を更新し続けると、決済ラインも追隨して一緒に上がっていくことになります。

銘柄へのエントリーが行われると、パラメータに入力された数値に沿った利確・損切ラインが自動的に Trading View の株価チャートに表示されます。

「MILLION TRADER」は、一度アラートを設定してしまえばチャートを表示していなくても自動的に売買が行われますが、チャートを表示しておくことで、「何処で決済注文が発注されたのか」「何処で利確・損切が行われるのか」などが視覚的に確認できます。

【例】下記の設定の際に、8,595 円でエントリーした場合



- ① 株価が買値から【2】%(8,767 円)を超えたので、【1】%(8,681 円)に利確ラインが引かれました。
- ② 利益が【5】%(9,025 円)を超えたので、この後の**最大含み益**から【40】%下に利確ラインが追随します。
- ③ 株価が買値から【8】%(9,283 円)を超えたので、【6】%(9,111 円)に利確ラインが引かれました。
- ④ 利益が【10】%(9,455 円)を超えたので、この後の**最大含み益**から【20】%下に利確ラインが追随します。
- ⑤ 最大含み益が 12.15%(+1,020 円)なので、そこから 20%(−204 円)下落した、9,411 円で成行決済しました。
- ⑥ エントリー直後、損失が【4】%(8,251 円)の価格に損切ラインが引かれました。

チャート上には決済時にどの条件で決済が行われたかが、決済ポイントの上に表示されます。

もっとも、表記された「新規買い」「返済売り」はあくまで『成行注文が行われた』タイミングであるため、大半の場合は実際に約定する株価と、Trading View に表記された価格とがわずかに異なりますので、その誤差を踏まえた上での設定を心がけましょう。

「注文板が薄い」「出来高が少ない」「売買が過熱している」などの銘柄は注文発注時の株価と約定株価がかなり変わる場合があるので注意してください。

また、①～④の決済ポイントはなるべく「①<②<③<④」となるように設定してください。
上記の順番でなくとも決済は正常に行われますが、決済時の条件表記が異なってしまう場合があります。

【7】新値足用パラメータ

【1 分足 MA 基準 新値足エントリー】

1 分足の 25、75 分移動平均線を基準線とし、新値足陽線が指定 MA を上抜いたら買いエントリー、新値足陰線が下抜いたら売りエントリーを行います。

また、前日終値と当日始値にギャップがかなりある場合は寄付き直後の移動平均線が機能しないことがあるので、MA の傾斜を条件に含めることも可能です。

■25MA :新値足陽線で 25 分 MA の上を推移していたら**買い**、陰線で下を推移していたら**売り**エントリー

■75MA :新値足陽線で 75 分 MA の上を推移していたら**買い**、陰線で下を推移していたら**売り**エントリー

■25MA&傾斜 :25 分 MA が**上**へ傾斜し、かつ新値足陽線で 25 分 MA の上を推移していたら**買い**エントリー
25 分 MA が**下**へ傾斜し、かつ新値足陰線で 25 分 MA の下を推移していたら**売り**エントリー

■75MA&傾斜 :25 分 MA が**上**へ傾斜し、かつ新値足陽線で 25 分 MA の上を推移していたら**買い**エントリー
25 分 MA が**下**へ傾斜し、かつ新値足陰線で 25 分 MA の下を推移していたら**売り**エントリー

【判定足】

買い、空売りのエントリーを判定する足(タイミング)を選択します。

※現在足、1 本前の詳細は「MACD エントリー判定足」の項目(P. 9)をご参照ください。

【新値足エントリー想定ロス回避】(※空売り条件は反転)

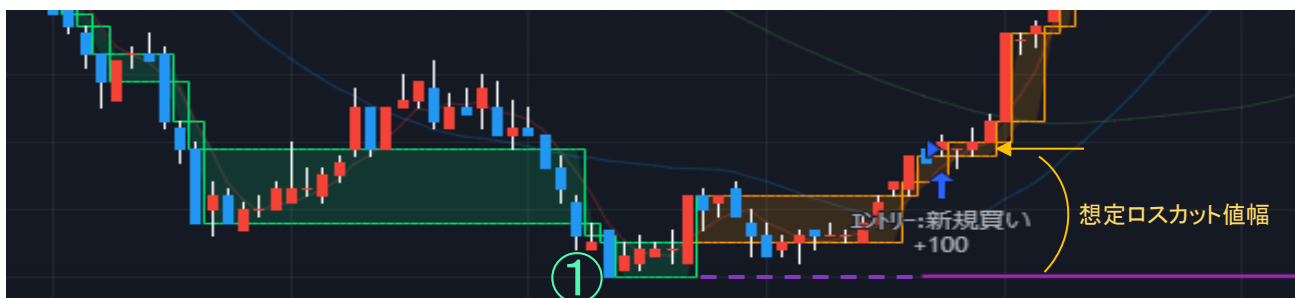
下図①にある**買いエントリーする前の新値足陰線の下値**から買い付け価格が入力%以上離れている場合、エントリーを行いません。

新値足反転ロスカットをオンにしている場合は、買いポジションがある最中に新値足陰線で①の線を終値で下抜くとロスカットを行います。

このロスカット値を想定ロスカット値幅として、想定以上のロスカットの可能性のあるエントリーを避ける用途で用います。また、「%」ではなく「呼値」を選択すると、想定ロスを呼値幅で数えます。

■% = エントリー株価から想定ロスカット株価までの下落幅を下落率(%)で計算します。

■呼値 = エントリー株価から想定ロスカット株価までの下落幅を呼値単位で数えます。



【回避想定ロス上限(%)】

新値足エントリー想定ロス回避で「%」を選んだ場合、こちらにロスカット下落率許容上限を入力します。

【回避想定ロス上限(呼値)】

新値足エントリー想定ロス回避で「呼び値」を選んだ場合、こちらにロスカット呼値幅許容上限を入力します。

【新値足反転ロスカット】(※空売り条件は反転)

買いポジションがある最中に新値足陰線での線を下抜くとロスカット決済を行います。

※詳しくは「新値足エントリー想定ロス回避」の図をご参照ください。

【TOPIX100 対応呼値】

TOPIX100 採用銘柄は通常の銘柄と呼値幅が違いため、他の呼値を数えるパラメータを使用する際の最小呼値幅を TOPIX100 採用銘柄用にするか、通常の銘柄用にするか決めます。

通常 : TOPIX100 採用銘柄以外でのご利用の場合に選択します
また、過去の設定中の株価チャートを参照し、2 本並んだローソク足の終値の差が通常銘柄の呼値より小さい値幅があった場合は自動的に TOPIX100 の呼値が採用されます。
小さい値幅が無かった場合は通常の銘柄の呼値を採用します。

TOPIX100 : TOPIX100 採用銘柄でのご利用の場合に選択します。

【呼値逆指値】(※空売り条件は反転)

通常のトレーリングストップ、逆指値は買い付け価格から現在値の株価基準による上昇・下落率を基に計算していますが、このトレーリングストップ、逆指値は呼び値の最小刻み幅を「1」とし、その数値をもとに計算を行います。

「呼び値」とは

株式の呼び値の刻み幅は銘柄の値段の範囲によって決まっており、その銘柄の株価によって 1 円から 100,000 円まであります。(※TOPIX100 銘柄は 0.1 円～10,000 円)

【第1呼値 逆指値発動】【逆指呼値1】【第2呼値 逆指値発動】【逆指呼値2】

エントリー価格から呼び値の刻み幅が【逆指値発動】に入力した分だけ上昇すると、買値から【逆指呼値1】に入力した呼び値の刻み幅の価格に逆指値が設定されます。

逆指値に現在値が触れると決済が行われます。

【分足 25or75MA 新値足逆指利確】(※空売り条件は反転)

25MA、または 75MA のどちらかが「利確条件 逆指値%」を超えていた場合、25MA と 75MA が決済ラインとなります。

決済条件は以下の 3 つを満たした際に行われます。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| ① 決済条件は新値足が陰線に転じた状態 | ② 対象 MA が上向いている |
| ③ 現在値が対象 MA を割り込んだ状態 | ④ 「利確条件 含み益%」を満たしている |

デイトレードにおいてのパーセントトレーリングストップと近い効果が期待できます。

【利確条件 含み益%】

上記の④の含み益条件を入力します

◆ 注意事項 ◆

実際の株式投資の売買におきましては、自己資金等を十分考慮した上、ご自身の判断・責任のもとご利用下さい。本商品に無料付与されるノートパソコンはあくまでサービスであり、その品質、操作性能、利益向上を保証するものではなく、故障、トラブルについても一切の責任を負いかねます。

本商品のご利用において行われる取引、その他の行為、及びその結果について、収益性が100%向上するものではありません。

銘柄によっては信用取引(制度・一般)が行えない場合もある事を、予めご了承下さい。

また、本商品のご利用にて被った如何なる損害についても一切の責任を負いかねます。

[投資に係るリスクおよび手数料について]

国内上場有価証券等には株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)、または元本を超過する損失を生ずるおそれ(元本超過損リスク)があります。

[免責事項]

ホームページ及びメール上、または本商品上での提供情報は著作権法によって保護されており、株式会社レックスマネジメント(以下「当社」)に無断で転用、複製又は販売等を行う事を固く禁じます。提供情報は、当社の情報提供を目的とするものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。

ホームページ及びメール上、並びに本商品上での提供情報はあくまでも情報の提供であり、売買指示ではございません。

実際の取引(投資)商品の売買におきましては、自己資金等を十分考慮した上、ご自身の判断・責任のもとご利用下さい。弊社は、提供情報の内容については万全を期しておりますが、提供情報の内容に基づいて行われる取引、その他の行為、及びその結果について、これを保証するものではありません。

また、この情報に基づいて被った如何なる損害についても当社は一切の責任を負いかねますので予めご了承下さい。

商号：株式会社レックスマネジメント

住所：〒160-0022 東京都新宿区新宿 3-12-4-309

電話番号：03-6300-5358

メールアドレス：info@rex-m.com